

青森県内のスリップ事故について（令和2年1月～3月）

交 通 部
交 通 企 画 課

令和2年1月から3月までの間に青森県内でスリップ事故として集計された事故は

- **朝の出勤時間帯（午前7時～9時台）に多発（44.1%）**
- **「追突」事故が最も多い（57.6%）**

などの特徴がありました。

冬道を運転する際は

- 1 夏場に比べて**1割以上スピードを減速**してゆっくり走る
- 2 車間距離は路面乾燥時に比べて**2倍以上の間隔**を確保する
- 3 朝の出勤時間帯はいつもより**3分以上早めに出発**して心にゆとりを持つ
- 4 急ブレーキや急ハンドルなど、**急のつく動作**を控える

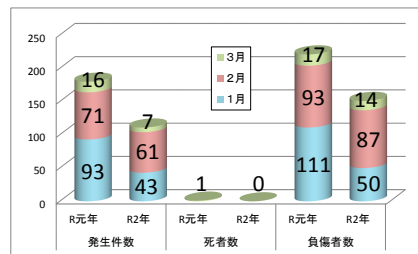
ことを心がけましょう。



1 スリップ事故発生状況

	R元年			合計	R2年			合計
	1月	2月	3月		1月	2月	3月	
発生件数	265	226	210	701	218	241	198	657
うちスリップあり	93	71	16	180	43	61	7	111
死者数	4	1	5	10	0	1	5	6
うちスリップあり	1	0	0	1	0	0	0	0
負傷者数	327	288	244	859	264	311	242	817
うちスリップあり	111	93	17	221	50	87	14	151

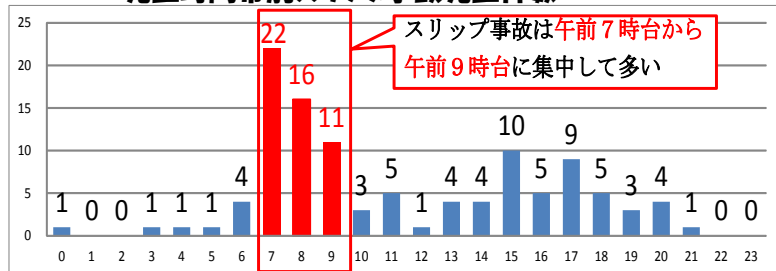
～スリップ事故の発生状況～



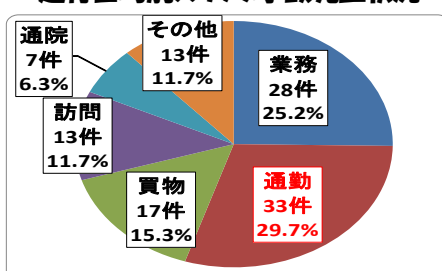
2 時間帯別スリップ事故発生件数（R2年1月～3月）

スリップ事故を時間帯別にみると、出勤時間帯となる午前7時台から午前9時台の発生が多く、全スリップ事故111件のうち49件（44.1%）を占める。また、通行目的別では通勤時が最も多い。

～発生時間帯別スリップ事故発生件数～



～通行目的別スリップ事故発生状況～

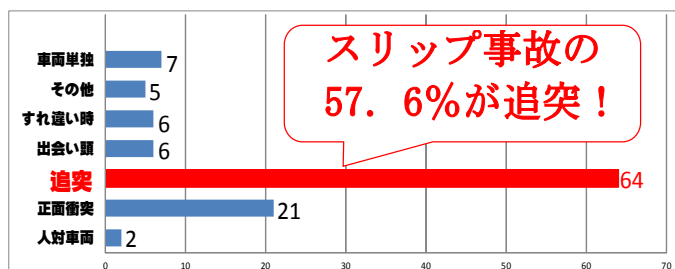


3 事故類型別スリップ事故発生件数（R2年1月～3月）

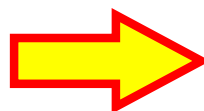
スリップ事故を事故類型別にみると、「追突」が最も多く、111件中64件（57.6%）を占め、次いで「正面衝突」（21件、18.9%）が多い。

また、「追突」を違反別にみると「ブレーキ操作不適」が64件中29件（45.3%）が最も多く、次いで「安全速度」（24件、37.5%）が多い。

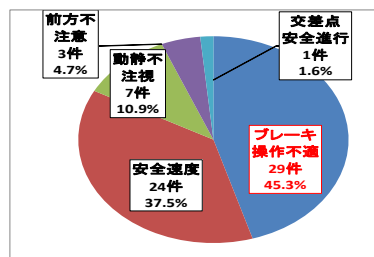
～事故類型別スリップ事故発生件数～



スリップによる
追突事故のうち



～スリップを伴う追突事故～



1割以上のスピードダウン、2倍以上の車間距離、3分以上早めの出発を！

